

# にんじんの需給動向について

にんじんの需給動向について

にんじんの価格高騰が続いている。

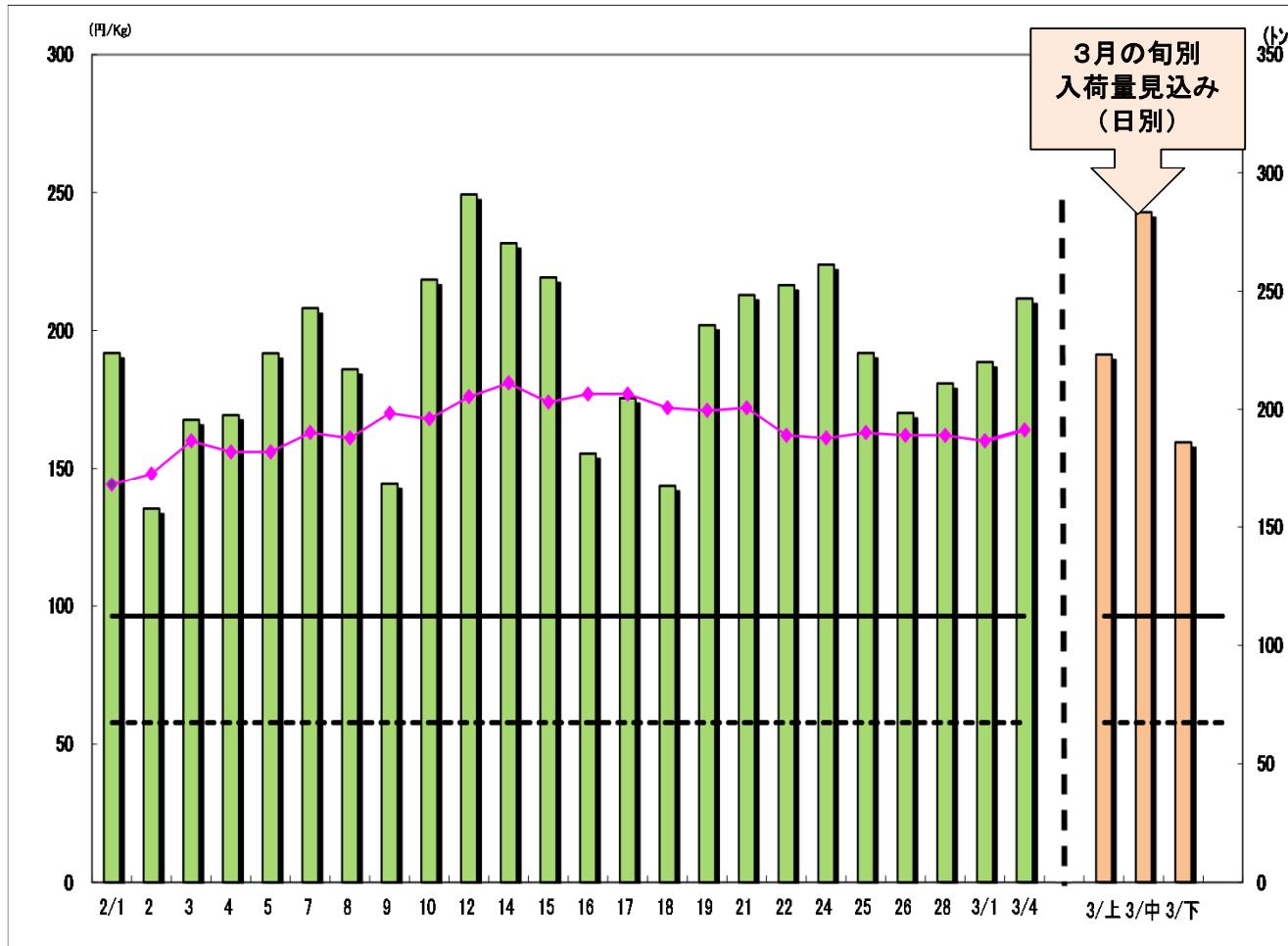
これは、冬にんじん主産地である千葉産が昨年、播種時期の夏の少雨の影響を受け、発芽不良や生育遅れ、10月の日照不足の影響も受け、平年より少なめの出荷量となっていることが大きく影響している。

3月はにんじんの主産地が千葉産から徳島産への切り替わりの時期であり、今後の入荷見通しから価格を予測すると、上旬は千葉産が少なめの出荷量との見込みから現状よりやや高め、中旬は後続の徳島産の順調な生育に基づき入荷量の増加により現状より1割程度下落、下旬は千葉産が平年より早めの切り上がりを迎えることから、やや高めと予測される。

4月は、徳島産が主産地になることから、価格は高めながら落ち着いてくるものと思われる。

## にんじんの卸売数量と価格の推移 (23. 2. 1~)

### 東京都中央卸売市場



資料：ベジ探、（原資料）農水省「青果物日別取扱高統計結果」

注)3月の入荷見込数量は、機構調べ。

## ◎にんじん主産地の生育ステージ

8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月



《大規模生産者・法人の皆様への窓口を開設しました！（直接契約課）》

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 [http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01\\_000076.html](http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01_000076.html)

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、太田、三部 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484